



日本瓦斯株式会社に対するニッセイ・グリーンローンの実行について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、この度、日本瓦斯株式会社（代表：津曲貞利）に対し、ニッセイ・グリーンローン（以下「当融資」）を以下の概要で実行しました。

<案件概要>

実行日	2023年4月28日
企業名	日本瓦斯株式会社
当社融資額	3億円
プロジェクト概要 (資金使途)	<p>小水力発電を行う河俣川水力発電所(熊本県)の建設費用の一部</p> <p>・年間発電量 約 <u>4,760MWh/年</u> (想定) →最大発電量 990kW×24h×365日×設備稼働率^(※1)55% =4,760,000kWh/年(4,760MWh/年)</p> <p>(※1)設備稼働率55%は、気象庁気象統計情報約10年間の降雨量データと実際の流量観測結果から国土交通省が定めるタンクモデルに基づき算出。</p> <p>・CO2削減量 約 <u>2,332t-CO2/年</u> (想定) →年間発電量 4,760MWh×日本瓦斯の調整後排出計数^(※2)0.490kg-CO2/kWh =2,332t-CO2/年</p> <p>(※2)調整後排出係数である0.490kg-CO2/kWh(2021年度実績)は、地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)に基づき国に報告した値を採用。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> </div> </div>

期待される 環境改善効果	日本瓦斯株式会社は「環境行動指針」のもと、環境特性に優れた天然ガスの普及拡大と高効率機器システムならびに再生可能エネルギーの普及促進により、環境負荷の低減に努めることを行動指針としている。 当融資の資金使途である河俣川水力発電所は、再生可能エネルギーとして環境負荷の低い発電所に位置づけられ、年間発電量は合計約4,760MWh/年、環境改善効果としては、約2,332t-CO2/年のCO2削減効果が見込まれている。
-----------------	--

当社は、生命保険会社としての使命や公共性を踏まえ、環境や地域・社会と共生し、経済・企業と安定的な成長を共有していく観点から、ESG 投融資を強化しており、当融資もその一つと位置付けています。

今後も、持続可能な社会の実現への貢献と契約者利益の一層の拡大を目指し、ESG 投融資に取り組んでまいります。

以 上

2023-3566G (融資総務部)